∞

2/2 ページ

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

(43)Date of publication of application: 21.03.2000

(51)Int.CL	G02B 27/02
	The state of the s
(21)Application number: 10-267410	(71)Applicant : CANON INC

(54) IMAGE DISPLAYING DEVICE AND IMAGE DISPLAYING UNIT

SUGAWARA SABURO

(72)Inventor: KODAMA HIROYUKI

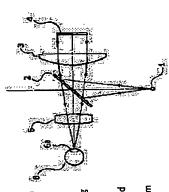
04.09.1998

(22)Date of filing:

(57)Abstract:

type image displaying device which causes few ghosts PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a reflection and is bright and excellent in contrast, and also to

positive lens group 3 again and the luminous flux from 2nd positive lens group 3. The luminous flux reflected SOLUTION: A display part of a reflection type image means 2 to split the luminous flux into a transmitting Aux from a light source 1 incident on a light splitting flux from a 2nd positive lens 3 by making a luminous on a 1st positive lens group 5, and the luminous flux the 2nd positive lens 3 is made incident on the light modulating element 4 is illuminated with a luminous through the light splitting means 2 is made incident making the reflecting luminous flux incident on the from the 1st positive lens group 5 is guided to the splitting means 2, and the luminous flux passing uminous flux and a reflecting luminous flux, and by the display part is made incident on the 2nd position of an observer's eye 6. provide an image display unit.



JEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of

rejection]

than the examiner's decision of rejection or [Kind of final disposal of application other application converted registration]

[Date of final disposal for application] [Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

(19) 日本国称許庁(JP)

(11) 特許出願公別番号 (a)公開特許公報(A)

特開2000-81591

E (2000, 3, 21)

2

27/02

G02B

21/02

G02B

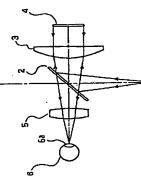
##/	6 (0)
(P2000-81591A) (43)公開日 平成12年3月21日	

	審査開水 未開水 請水項の数10	FD	(全8頁)	- 1
(21) 出版番号	岭 頗平10-267410	(71)出廢人 000001007	000001007	
			キヤノン株式会社	
(33) 田殿田	平成10年9月4日(1998.9.4)		東京都大田区下丸子3丁目30番2号	
		(72)発明者	児玉 浩幸	
			東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノ	1
			ン株式会社内	
		(72)発明者	替原 三郎	
			東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノ	2
			ン株式会社内	
		(74)代理人	100086818	
			井瀬士 高数 幸福	

(54) 【発明の名称】回像表示装置及び画像表示ユニット

良好な反射型の画像表示装置及び画像表示ユニットを提 【戦題】 明るく、ゴーストが少なく、コントラストの

束を第2正レンズ群3に入針させ、放第2正レンズ3か させて膨光束を遜過光束と反射光東に分割し、骸反射光 **針させて抜第2正レンズ3からの光東を抜光分割手段2** に入射させ、蚊光分割手段2を透過した光束を剪1正レ ンズ群5に入針させ、駮第1正レンズ群5かちの光束を 放表示部で反射した光束を再び放第 2 正レンズ群 3 に入 【解決手段】 光頌1からの光束を光分割手段2に入射 らの光束で反射型の画像変闘祭子4の投示部を照明し、 **関係者の服6の位置に導光すること。**



2 正レンズからの光束を散光分割手段に入射させ、散光 【請求項1】 光顔からの光束を光分割手段に入射させ て核光束を透過光束と反射光束に分割し、核反射光束を で反射型の画像変調券子の表示部を照明し、鞍表示部で 反射した光束を再び眩第2正レンズ群に入射させて眩剪 **阪第1正レンメ群かなの光束を観察者の眼の位置に導光** 第2mレンズ群に入射させ、极第2mレンズからの光東 分割手段を透過した光束を第1正レンズ群に入射させ、 することを特徴とする国像表示装置。

て眩光束を透過光束と反射光束に分割し、眩透過光束を 第2正レンズ群に入射させ、駮第2正レンズかちの光東 で反射型の画像変調案子の表示部を照明し、蘇表示部で 反射した光束を再び核第2正レンズ群に入射させて紋第 2 正レンズからの光東を放光分割手段に入射させ、放光 **舷第1正レンズ群からの光束を観察者の眼の位置に導光** 【間水頂2】 光顔からの光束を光分割手段に入射させ 分割手段で反射した光束を第1正レンズ群に入射させ、 **することを特徴とする国役扱示装備。**

[0004]

ន 段関係にあることを特徴とする請求項1又は2の画像数 【請求項3】 前配光顔と前配観察者の眼の位置とが共

子分散型液晶であることを特徴とする請求項1, 2叉は ・閉水項41 前配反射型面像変調案子の表示部は高分 3の画像表示装置。

向けた 1 枚の平凸レンメより構成されることを停御とす 【開水項5】 前記第2正レンメ群は観察者側に凸面を る間水項1,2,3又は4配数の画像表示装置

【精水項6】 前配平凸トンズの観察者側の凸面は双曲 面であることを特徴とする開水項5配数の画像数示数

ജ

K、 餃平凸 レンズの d 線に おける 屈折 母を n 2 としたと 【請求項7】 前記平凸レンズの双曲面の円盤定数を

0. 7<A<1.4

ここで、A=-K/n22の条件式を簡屈することを特 徴とする精水項6記載の画像報示装画。

より構成されることを特徴とする糖水項1~1の何れか 【糖水煩8】 粒配衡1 正ワンズ群は1 枚の両凸ワンズ 【鶴水頌9】 前配第1正レンズ群は負レンズと正レン 頃に記載の画像数示装配。

\$

ズが接合された1枚の両凸接合レンズより構成されるこ とを特徴とする請求項1~8の何れか1 項に配載の画像

像表示装置を一対備え、核一対の画像表示装置からの光 束を観察者の右限の位置と左眼の位置とに導光すること 【請求項10】 請求項1~9の何れか1項に記載の画 を特徴とする画像表示ユニット。

[発明の詳細な説明] [0001]

<table-row> 12000-81591

3

[発明の属する技術分野] 本発明は、被晶などに数示し た画像を拡大して観察させる画像数示数置及び画像数示 ユニットに関するものである。

して観察させる国像数示装置としては、図13に示す装 れ、ハーフミラー15を通過して画像変闘装置の表示部 14を照明する。そした飲扱示部14の投示回像に基ク 【従来の技術】従来、反射型液晶に扱示した画像を拡大 [0003] 鞍桜買において、光版10から発せられた 照明光は、反射鏡11で反射され拡散板12で均一化さ いて質問された光東は、ハーフミラー15で反射され、 置が特別平8-320451号公報で提案されている。 凹面鏡16で拡大され再度ハーフミラー15を透過し て、観察者の目20に入財する。

に低下する問題があった。また、光源10から観察者の 像10がハーフミラー15によって反射され観察者の目 20に入射してしまうためゴーストが発生し、画像変闘 目20までの光路においてハーフミラーを2回透過、1 妓置の投示部14を観磨するときのコントラストが非常 [発明が解決しようとする瞑題] この従来例では、光圀 回反射するため光盘の低下が大きいという問題があっ [0005] そこで本発明の目的は、明るく、ゴースト が少なく、コントラストの良好な反射型の画像扱示装置 及び回像表示ユニットを提供することにある。

[0000]

を光分割手段に入射させて販光束を透過光束と反射光束 第2mァンズからの光東で反針型の画像改翻群子の表示 観察者の眼の位置に導光することを特徴とする画像表示 |課題を解決するための手段|| [1] :光顔からの光束 に分割し、飯反射光束を第2正レンズ群に入射させ、飯 部を照明し、眩疫示部で反射した光束を再び眩箉2正レ ンズ群に入射させて眩節2正レンズからの光束を眩光分 割手段に入射させ、阪光分割手段を登過した光束を第1 **正レンズ群に入射させ、駁類1圧レンズ群かちの光束を**

示部で反対した光束を再び眩算2正レンズ辞に入射させ 射させて餃光束を透過光束と反射光束に分割し、眩透過 光束を第2正レンズ群に入針させ、鞍第2正レンズから の光束で反射型の画像変調索子の表示部を照明し、眩喪 は、核光分割手段で反射した光束を第1正レンズ群に入 **針させ、抜類1正レンメ群かちの光束を観察者の眼の位** 【0007】〔2〕:光顔からの光束を光分割年段に入 て豚第2正レンズからの光束を豚光分割手段に入計さ **聞に苺光することを特徴とする回像扱示装置。**

【0008】 [3]: 前記光頌と前記観義者の眼の位置 とが共役関係にあることを特徴とする [1] 又は [2] の画像数示装置。

[0009] [4]: 前配反射型画像数調架子の表示部

ន

(2) 又は (3)の画像数示数图。

凸固を向けた1枚の平凸レンズより辞成されることを等 数とする [1], [2], [3]又は [4]記載の画像 【0010】〔5〕:前記第2正レンズ群は観察者倒に

【0011】 【6】: 世紀平凸ァンメの観察者回の凸面 は双曲面であることを特徴とする [5] 記載の画像扱示 【0012】 【7】: 前配平凸トンズの双曲面の円鎌定 数やK. 数PPロフンメの 4 扱いなける B がらかっ 3 とし たとき、0.7<A<1.4ここで、A=-K/n2² の条件式を商足することを特徴とする [6] 記載の画像 **【0013】 [8]: 控咒郑1 II アンズ辞は1 枚の返凸** レンメより格成されることを称徴とする (1]~ [7] の何れか1項に記載の画像数示装置

れることを特徴とする (1.) ~ (8.) の何れか1 項に配 **규ァンズが被合された1枚の両凸接合レンズより権成さ** 【0014】〔9〕: 杜記第1 正レンズ群は魚レンズと 截の画像表示装配。

ន

[0015] [10]: [1]~[9]の何れか! 頃に 記載の画像投示装置を一対備え、抜一対の画像表示装置 からの光束を観察者の右眼の位置と左眼の位置とに導光 することを鈴倒とする画像投示ユニット。 【発明の実施の形態】図1は本発明の第1実施形態の概 ズ、4は反射型画像変調案子としての反射型液晶、5は 略斯面図を示す。同図において、1は光顔、2は入射光 を遊過光と反射光に分割する光分割手段としてのハーフ ミラー、3は第二の正レンズ群としての1枚の正レン

第1の正ワンズ群としての1枚の正ワンズである。

೫

ることができる。特に本例は、瞳6gに光原像を形成す する構成のため光顔1からの光東がムダ無く随6gに導 反射型液晶4を照明する。反射型液晶4の表示画像に基 ミラー2を透過し、正レンズ5でさらに集光され、観察 者の眼球6の瞳6gに光顔像を形成する。これにより観 僚者は反射型液晶4に繋示された画像を拡大して観察す る構成、即ち観察者の眼の位置と光顔1とを共役関係と [0017] 光鎖1から発せられた光は、ハーフミラー **ムごト質質やれた光は、 肝ワンメヨか錬光され、 ヘーン** 2 で反射され、正レンメ3で鎮光され平行光となって、 光され、明るい表示画像が得られる。

した欲細なカラーフィルターを配置すれば、カラー画像 **晶でもよいが、明るさの効率を高めるためには個光板を** のとき液晶の拡散の度合いにより観察者の眼球6の瞳6 aに入射する光量が変化し、観察者は変闘された画像を 見ることができる。また、反射型液晶4の各画森に対応 【0018】尚、反射型液晶4はツイストネマチック液 用いる必要のない高分子分散型液晶であるのが良い。こ

[0019] 本形態においた、吊ワンメ3兵酸低粘固に **凸間か向けた中凸ワンメとしたいる。いたは、 吊ワンメ** 3の観察者側のレンズ面での反射光を発散させて光顔像 のゴーストを目立たなくさせるためである。 [0020]また、反射型液晶 4を照明する照明系の球 面収差が大きいと観察者の視野内で明るさのムラ(照明 ムラ) が発生してしまい好ましくないので、正レンズ3 の観察者倒のレンズ面を双曲面とし、球面収差を小さく している。

ストの発生が小さく、コントラストの良好な画像般示数 の少ない光顔を用いることができるので、装置全体とし 【0021】以上のように本形態では、光顔1から観察 置が実現できる。さらに画像表示森子に反射型の高分子 分散型液晶を用いれば、偏光板を使用する必要がないの でさらに明るくなり、結果としてLEDなどの消費配力 針、1回遊過で構成できるので光盘損失が少なく、ゴー て消費電力の少ない、小型な画像観察装置が実現でき 者の眼 6 までの光路においてハーフミラー 2 を 1 回反

同じであるので、重複する説明を省略し、眩算1実施形 【0022】図2は本発明の第2実施形態の概略断面図 を示す。本形態の基本構成は、前述の第1実施形態と略 個と異なる構成のみを説明した。 なお同一の要案には同 **杵番を付している。 (以下の実施形態についても回接や ある**

フンズ 7 を配置して、光顔 1 から発せられる照明光の利 用効率を高めるとともに、装置全体の小型化を実現して 本形態では光原 1 とハーフミラー 2 の間にコンデンサー

[0023] 図3は本発明の第3実施形態の概略節面図 を示す。

[0024] 本形簡では、光頃1とハーフミラー2の間 に光拡散板8を配置して、光顔1の見掛けの大きさを大 きくすることにより観察者の眼球6の移動による画像の 観察者は眼球6の瞳6aを光顔像に正確に合わせ込まな 消失を緩和させている。このような構成をとることで、 、ても質問された画像を見ることができる。

[0025] 図4は本発明の第4実施形態の概略断面図 於所中。

2

一画像を得るものである。反射型液晶4は、核光顔の点 した変闘を行うことでカラー画像を扱示する。この構成 の場合、カラーフィルターを用いた単板のカラー液晶と [0026] 本形態は、3色の光顔1B, 1G, 1Rを 配置し、散光顔1日,1G,1Rを順次点灯させてカラ 灯と同期させて最示画像を切り換え、骸光頭の色に対応 比べて3倍の解像度を得ることができる。

実施例1、2、3のフンズ幣面図、図8、9、10は核 [0021] 図5、6、714本発明の観察光学系の数値 数値英施例1、2、3の収登図を示す。

S

【0028】なお、図6、7の数値英値例2,3では第 1 マンメ群カアッ人数の大きこ 吊ワンメカアッ人数の六 さい角レンズを接合した接合レンズとして色収验を良好

 $X = (y^2 / r) / (1 + (1 - (1 + K) * (y / (1 + K)) + (y$

* 学祭旧の筋状は以下の式が敬かれる

衛陽2000-81591

3

も、第1 レンメ群や1 枚の庖凸ワンメ若しくは庖凸歓合 【0029】また、観察系の非点収整を小さくするた レンメとしている。

[0030]以下、統1レン火料5及び被2レン火料3 よりなる観察光学系の数値実施例を示す。 [0031] 227.

niは観察者倒からi毎目のレンズのd級における屈折 riは観察者側からi毎目のレンズ面の曲率半径 d i は観察者飼から i 毎日のレンメ面関隔

ゝ:は観飲者圏かの:毎目のフンズのアッベ数 K は 非 野 間 の 日 朝 の 数

数値実施例3 A=1. 000(観察者側から4番目の 数値実施例1 A=1.000 (観察者側から3番目の 数値映施例2 A=1.000 (観察者図から4番目の 0. 7 < A < 1. 4 (1) フンメ 個が 学 発用) フンズ 旧が非 歌 囲) フンメ油が非球曲) A=-K/n 23 () 2) 0.6)

尚、条件式 (1) の範囲外では、観察者の瞳における照 明光の球面収差が増加し、反射型の画像変調装置の袋示 部において照明ムラが発生してくるので良くない。

[0032]

数值实施例

f= 99.96247

v 2= 57, 4 v]= 57.4 n 1=1.49171 n 2=1. 49171 द्रसंद्ध १ द्रह्मेंड

. 000000+00 0.000000+00 0.000000+00 0.000000+00 0.00000D+00 o. 00000D+00 8 9. 00000D+00 0. 00000D+00 6. 00000D+00 G. 000000⊅+00 A. 0000000+00 P. 0000000+00 -8. 22500D+00 D. 0000000+00 asph

[0033]

梅開2000-81591

9

9

数值换施例 2

38, 67069 e. n 2*1: 50311 n 2*1: 62004 n 3*1: 49171

v 3= 57.4 * 2= 30.7 * 2= 30.7

0.000000+00 D, 000000+60 C 0. 000000100 G. 00000D+00 8. 00000D+00 g. 000000+00 B. 00000D+00 G. 00000D+00 0.000000+00 2. 22500D+00 F 0. 0000000+00 A°. 000000+00 F. 0000000+00 1 5.00000D+01 type type

[0034]

* * [数3]

数值集施例3

f* 88. 10821

v 2. 38. v v 8= 57.4

O. 000000+00 D' 0. 00000D+00 C 4 O. 00000D+00 C. D. 00000D+00 B 0. 000000+00 B. 0. 0030000+00 0. 00000D+00 D. 000000+00 P. 000000+00 2 -2. 22500D+00 P. 0000000+90 V. 0. 000000400 seph 4

(かの街)

すようにハーフミラー2を透過した光束を第2正レンズ 40 入射し反射した光東を用いた例を示したが、図11に示 1. 上記の異簡形簡では、光顔1からハーフミラー2に 群3に入射させる構成であっても良い。

る。このとき反射型液晶4に互いに視差を有する画像を 像表示装置H を一対備え、該画像表示装置H からの光東 を観察者の右眼と左眼とに導光するものである。駮画像 [0035] 2. 図12は本発明にかかる回復数示コニ ットの概略因である。铍画像鞍ボユニットUは、上記画 要示ユニットUは 例えば観察者の頭部に装着される **所閣ヘッドやウントディスプレイとして 利用され**

[発明の効果] 以上説明したように本発明によれば、明 るく、ゴーストが少なく、コントラストの良好な反射型 の画像表示装置及び画像表示ユニットを提供できる。 [0036]

[図1] 本発明の第1 実施形態の断面図 [図面の簡単な説明]

【図3】 本発明の第3実施形態の節面図 【図2】 本発明の第2 実施形態の矩画図

【図4】 本発明の第4実施形態の断面図

【図5】 本発明に係る観察光学系の数値実施例1のレ

【図6】 本発明に係る観察光学系の数値実施例2のレ

【図7】 本発明に係る観察光学系の数値実施例3のレ S

扱示する ことで観察者に立体的な画像を観察させる

5. 正レンズ (第1 II アンズ母) 3. 吊フン火 (粧2吊フン火料) レ、 ロンナンキーフンズ 4. 反射型液晶パネル ハーフミサー 6 a. 眼珠の値 1 B. 角色光源 8. 光柱散板 6. 愚欺 【図11】 本発明に係る画像費示装置の他の形態を示 [図8] 本発明に係る観察光学系の数値奥施例1の収 [図9] 本発明に係る観察光学系の数値実施例2の収 [図10] 本発明に係る観察光学系の数値実施例3の 小煎品因 気を受図

【図12】 本発明に係る画像表示ユニットの概略図 [図13] 従来頃の画像敷示数館の節面図

(符号の説明)

<u>⊠</u>1]

[83 [83

M. メリディオナル領国

8. サジタル復岡

10 1 C. 数色光隙 1 R. 赤色光顔

[24]

[E

